



第 106 号
H23.12.22 発行

平成二十三年を振り返って

校長 富永勝弘

この年を振り返ると様々なことが思い出されます。お陰様で残り数日で今年も終了することになります。改めて保護者並びに地域の皆様により感謝申し上げます。東日本震災は日本に大きな試練と教訓を与えています。多くの犠牲者・不明者の皆様に改めて衷心より哀悼の意を捧げ、一日でも早い復興・復旧を心より念ずるばかりです。

さて、二期期の大きな諸行事もPTAの皆様の御協力を頂きながら成功裏に終了することができました。それぞれの行事の中で出水工業生の情熱と飛躍（伝統に裏打ちされた活躍）を垣間見たような気がします。また、十二日に行われましたミドル級王座統一戦（東洋太平洋・日本）で母校の卒業生淵上誠選手が大きな勝利を勝ち取りました。試合後のコメントでは「人生最強の相手にパンチをもらいう覚悟がないと倒せない」「みんなに力をもらったので『やればできるぞ!』と、みんなに力を与えたかった」と冷静な言葉を頂き、後

輩へ遅く生きる示唆と大きな夢を頂きました。

《避難訓練》

十二月一日（木）に今年度二回目となる避難訓練が行われました。雨天のため消火訓練は行われず、担任誘導で体育館に集まった後、阪神大震災のDVDを見ました。その後、出水消防署の署員の方から災害時の避難する時の心構えや、消火器の使い方についての講話を聞きました。

訓練終了後、電子機械科の二年生四名に記念品が贈られました。これは十月に西町で発生した火災の初期消火に、住民の方々とともに尽力したことに対するものです。

《職場体験学習》

十二月五日（月）から十二月九日（金）まで職場体験学習が実施され、本校の二年生が参加しました。たくさんの方々の協力のもと、短期間ではありましたが、働くことの大切さや有り難さを学びました。数年後には社会に出ていく生徒たちにとって財産となる体験になりました。

《後期生徒総会》

十二月十三日（火）に後期生徒総会が実施されました。新生徒会役員の任命式が行われ、新生徒会長が決意表明を行いました。



《部活動生 大活躍》

第六十二回鹿児島県高等学校美術展において、建築科一年・崎口このみさんと、電子機械科一年・原田和真さんが入選しました。また、第十八回鹿児島県高等学校写真展で、電子機械科三年・鬼木凌さんが入選、第三十九回全国高等学校選抜卓球大会県予選会の女子シングルスで電気科一年・中原沙希さんが第三位という結果をおさめました。

《ミドル級王者統一戦》

十二月十二日（月）に後楽園ホールにおいて、ミドル級王者統一戦が行われました。壮絶な戦いの末、本校卒業生で日本ミドル級王者・淵上誠選手が、東洋太平洋ミドル級王者・佐藤幸治選手にTKO勝ちし、四度目の防衛と王座統一を果たしました。



《一月のおもな行事》

- 十（火） 始業式
- 十九（木）～二十（金） 実力考査（二年）
- 二十七（金）～三十一（火） 卒業考査（三年）
- 三十一（火）～ 修学旅行（二年）

新年も皆さまにとっても良い年で

ありますように...

良いお年をお迎えください。

